

したがって、求める放物線の方程式は、それぞれ

$$y = -2(x-2)^2 - 3 \quad (y = -2x^2 + 8x - 11),$$

$$y = 2(x+2)^2 + 3 \quad (y = 2x^2 + 8x + 11),$$

$$y = -2(x+2)^2 - 3 \quad (y = -2x^2 - 8x - 11)$$

別解 x 軸, y 軸, 原点に関して対称な放物線は、それぞれ

$$y = -(2x^2 - 8x + 11)$$

$$\text{すなわち } y = -2x^2 + 8x - 11,$$

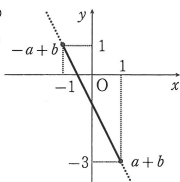
$$y = 2(-x)^2 - 8(-x) + 11$$

$$\text{すなわち } y = 2x^2 + 8x + 11,$$

$$y = -[2(-x)^2 - 8(-x) + 11]$$

$$\text{すなわち } y = -2x^2 - 8x - 11$$

136 $a < 0$ であるから、この関数のグラフは右下がりの直線の一部である。



よって

$$x = -1 \text{ のとき } y = 1$$

$$x = 1 \text{ のとき } y = -3$$

$$\text{ゆえに } -a + b = 1,$$

$$a + b = -3$$

$$\text{これを解いて } a = -2, b = -1$$

これは $a < 0$ を満たす。

$$\text{したがって } a = -2, b = -1$$

137 [1] $a > 0$ のとき

この関数のグラフは、右上がりの直線の一部である。

よって

$$x = -1 \text{ のとき}$$

$$y = -7$$

$$x = 2 \text{ のとき}$$

$$y = 8$$

$$\text{ゆえに } -a + b = -7, 2a + b = 8$$

$$\text{これを解いて } a = 5, b = -2$$

これは $a > 0$ を満たす。

[2] $a = 0$ のとき

この関数は $y = b$ となり、値域が $-7 \leq y \leq 8$ とはならない。

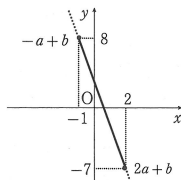
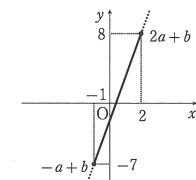
[3] $a < 0$ のとき

この関数のグラフは、右下がりの直線の一部である。

よって

$$x = -1 \text{ のとき}$$

$$y = 8$$



$x = 2$ のとき

$$y = -7$$

$$\text{ゆえに } -a + b = 8, 2a + b = -7$$

$$\text{これを解いて } a = -5, b = 3$$

これは $a < 0$ を満たす。

[1] ~ [3] から

$$a = 5, b = -2$$

$$\text{または } a = -5, b = 3$$

138 (1) $x = 1$ で最小値 5 をとる。

最大値はない。

(2) $x = 0$ で最大値 2 をとる。

最小値はない。

(3) 関数の式を変形すると $y = (x-2)^2 - 8$

よって、 $x = 2$ で最小値 -8 をとる。

最大値はない。

(4) 関数の式を変形すると $y = -2(x+1)^2 - 1$

よって、 $x = -1$ で最大値 -1 をとる。

最小値はない。

(5) 関数の式を変形すると $y = \left(x + \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{9}{4}$

よって、 $x = -\frac{5}{2}$ で最小値 $-\frac{9}{4}$ をとる。

最大値はない。

(6) 関数の式を変形すると $y = -2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{1}{8}$

よって、 $x = \frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{1}{8}$ をとる。

最小値はない。

139 (1) 関数 $y = x^2$ ($-3 \leq x \leq 1$) のグラフは [図] の実線部分である。

よって、値域は $0 \leq y \leq 9$

また、 y は $x = -3$ で最大値 9 をとり、

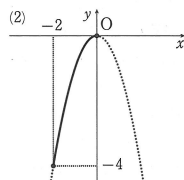
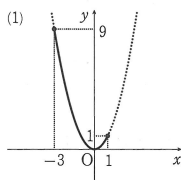
$x = 0$ で最小値 0 をとる。

(2) 関数 $y = -x^2$ ($-2 \leq x \leq 0$) のグラフは [図] の実線部分である。

よって、値域は $-4 \leq y \leq 0$

また、 y は $x = 0$ で最大値 0 をとり、

$x = -2$ で最小値 -4 をとる。

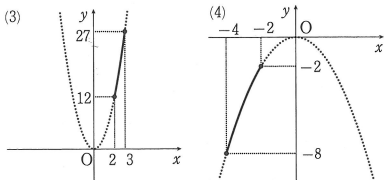


- (3) 関数 $y=3x^2$ ($2 \leq x \leq 3$) のグラフは [図] の実線部分である。

よって、値域は $12 \leq y \leq 27$
 また、 y は $x=3$ で最大値 27 をとり、
 $x=2$ で最小値 12 をとる。

- (4) 関数 $y=-\frac{1}{2}x^2$ ($-4 \leq x \leq -2$) のグラフは

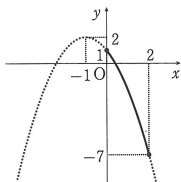
[図] の実線部分である。
 よって、値域は $-8 \leq y \leq -2$
 また、 y は $x=-2$ で最大値 -2 をとり、
 $x=-4$ で最小値 -8 をとる。



- 140 $y=-x^2-2x+1$ を変形すると
 $y=-(x+1)^2+2$

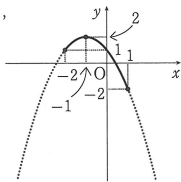
- (1) $0 \leq x \leq 2$ でのグラフは、

[図] の実線部分である。
 よって、 y は
 $x=0$ で最大値 1
 をとり、
 $x=2$ で最小値 -7
 をとる。



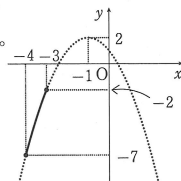
- (2) $-2 \leq x \leq 1$ でのグラフは、

[図] の実線部分である。
 よって、 y は
 $x=-1$ で最大値 2
 をとり、
 $x=1$ で最小値 -2
 をとる。



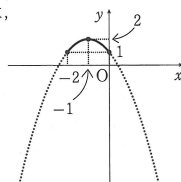
- (3) $-4 \leq x \leq -3$ でのグラフ

は、[図] の実線部分である。
 よって、 y は
 $x=-3$ で最大値 -2
 をとり、
 $x=-4$ で最小値 -7
 をとる。



- (4) $-2 \leq x \leq 0$ でのグラフは、

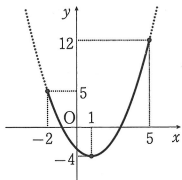
[図] の実線部分である。
 よって、 y は
 $x=-1$ で最大値 2
 をとり、
 $x=-2, 0$ で最小値 1
 をとる。



- 141 (1) $y=x^2-2x-3$ を変形すると

$y=(x-1)^2-4$
 $-2 \leq x \leq 5$ でのグラフは、
 [図] の実線部分である。

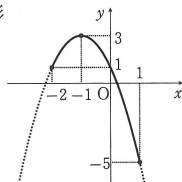
よって、 y は
 $x=5$ で最大値 12
 をとり、
 $x=1$ で最小値 -4
 をとる。



- (2) $y=-2x^2-4x+1$ を変形すると

$y=-2(x+1)^2+3$
 $-2 \leq x \leq 1$ でのグラフは、
 [図] の実線部分である。

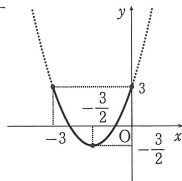
よって、 y は
 $x=-1$ で最大値 3
 をとり、
 $x=1$ で最小値 -5
 をとる。



- (3) $y=2x^2+6x+3$ を変形すると

$y=2(x+\frac{3}{2})^2-\frac{3}{2}$
 $-3 \leq x \leq 0$ でのグラフは、
 [図] の実線部分である。

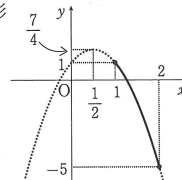
よって、 y は
 $x=-3, 0$ で最大値 3
 をとり、
 $x=-\frac{3}{2}$ で最小値 $-\frac{3}{2}$
 をとる。



- (4) $y=-3x^2+3x+1$ を変形すると

$y=-3(x-\frac{1}{2})^2+\frac{7}{4}$
 $1 \leq x \leq 2$ でのグラフは、
 [図] の実線部分である。

よって、 y は
 $x=1$ で最大値 1
 をとり、
 $x=2$ で最小値 -5
 をとる。



142 (1) $y=x^2-4x+5$ を変形すると

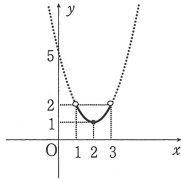
$$y=(x-2)^2+1$$

$1 < x < 3$ でのグラフは、
[図]の実線部分である。

よって、 y は
 $x=2$ で最小値 1

をとる。

最大値はない。



(2) $y=-x^2-x+2$ を変形する

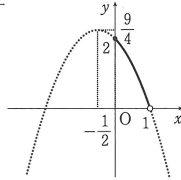
$$y=-\left(x+\frac{1}{2}\right)^2+\frac{9}{4}$$

$0 \leq x < 1$ でのグラフは、
[図]の実線部分である。

よって、 y は
 $x=0$ で最大値 2

をとる。

最小値はない。



(3) $y=3x^2-4x+1$ を変形

$$y=3\left(x-\frac{2}{3}\right)^2-\frac{1}{3}$$

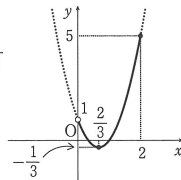
$0 < x \leq 2$ でのグラフは、
[図]の実線部分である。

よって、 y は
 $x=2$ で最大値 5

をとり、

$$x=\frac{2}{3} \text{ で最小値 } -\frac{1}{3}$$

をとる。



(4) $y=-2x^2+6x-1$ を変形すると

$$y=-2\left(x-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{7}{2}$$

ここで

$$\sqrt{2}=1.414\dots$$

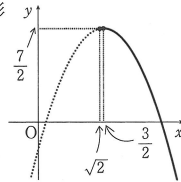
$$< 1.5 = \frac{3}{2}$$

よって、 $x \geq \sqrt{2}$ でのグラフは、
[図]の実線部分である。

したがって、 y は

$$x=\frac{3}{2} \text{ で最大値 } \frac{7}{2}$$

をとる。最小値はない。



143 (1) $y=-x^2+2mx-5m$ を変形すると

$$y=-(x-m)^2+m^2-5m$$

よって、 y は $x=m$ で最大値 m^2-5m をとる。

したがって $k=m^2-5m$

(2) $m^2-5m=14$ から $m^2-5m-14=0$

左辺を因数分解すると $(m+2)(m-7)=0$

よって $m+2=0$ または $m-7=0$

したがって $m=-2, 7$

(3) $k=m^2-5m$ を変形すると

$$k=\left(m-\frac{5}{2}\right)^2-\frac{25}{4}$$

よって、 k は

$$m=\frac{5}{2} \text{ で最小値 } -\frac{25}{4}$$

をとる。

144 (1) $y=2x^2+4x+c$ を変形すると

$$y=2(x+1)^2+c-2$$

$-2 \leq x \leq 1$ であるから、 $x=1$ で最大値をとる。

$x=1$ のとき $y=2 \cdot 1^2+4 \cdot 1+c=c+6$

$c+6=7$ より $c=1$

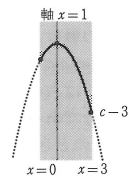
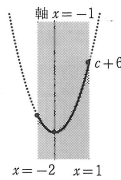
(2) $y=-x^2+2x+c$ を変形すると

$$y=-(x-1)^2+c+1$$

$0 \leq x \leq 3$ であるから、 $x=3$ で最小値をとる。

$x=3$ のとき $y=-3^2+2 \cdot 3+c=c-3$

$c-3=-5$ より $c=-2$



145 $y=ax^2-4ax+b$ を変形すると

$$y=a(x-2)^2-4a+b$$

$a > 0$ のとき、この関数の

グラフは右の図の実線部分である。

この関数は、

$x=5$ で

最大値 $5a+b$

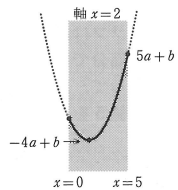
$x=2$ で

最小値 $-4a+b$

をとる。

よって $5a+b=15, -4a+b=-3$

これを解いて $a=2, b=5$

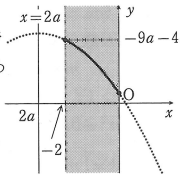


146 $y=-x^2+4ax-a$ を変形すると

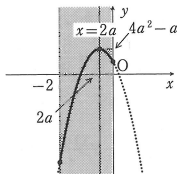
$$y=-(x-2a)^2+4a^2-a$$

よって、放物線の軸は 直線 $x=2a$

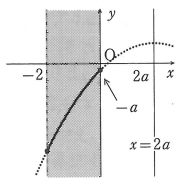
- (1) $a < -1$ のとき,
 $2a < -2$ であるから, グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = -2$ で最大値 $-9a - 4$ をとる。



- (2) $-1 \leq a \leq 0$ のとき,
 $-2 \leq 2a \leq 0$ であるから, グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = 2a$ で最大値 $4a^2 - a$ をとる。



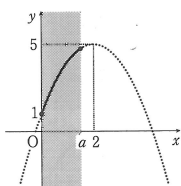
- (3) $0 < a$ のとき, $0 < 2a$ であるから, グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = 0$ で最大値 $-a$ をとる。



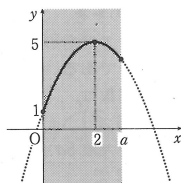
147 $y = -x^2 + 4x + 1$ を変形すると
 $y = -(x - 2)^2 + 5$

放物線の軸は 直線 $x = 2$, 頂点は 点 $(2, 5)$

- (1) [1] $0 < a < 2$ のとき
 グラフは右の図の実線部分である。
 $x = a$ のとき
 $y = -a^2 + 4a + 1$
 よって, $x = a$ で最大値 $-a^2 + 4a + 1$ をとる。



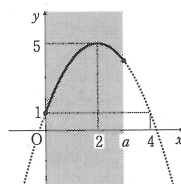
- [2] $2 \leq a$ のとき
 グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = 2$ で最大値 5 をとる。



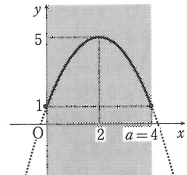
[1], [2] から

$0 < a < 2$ のとき $x = a$ で最大値 $-a^2 + 4a + 1$
 $2 \leq a$ のとき $x = 2$ で最大値 5

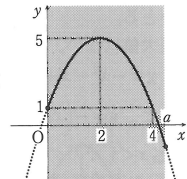
- (2) [1] $0 < a < 4$ のとき
 グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = 0$ で最小値 1 をとる。



- [2] $a = 4$ のとき
 グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = 0, 4$ で最小値 1 をとる。



- [3] $4 < a$ のとき
 グラフは右の図の実線部分である。
 よって, $x = a$ で最小値 $-a^2 + 4a + 1$ をとる。



[1] ~ [3] から

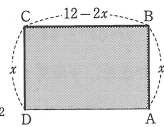
$0 < a < 4$ のとき

$x = 0$ で最小値 1

$a = 4$ のとき $x = 0, 4$ で最小値 1

$4 < a$ のとき $x = a$ で最小値 $-a^2 + 4a + 1$

- 148 $AB = x$ (m) とすると,
 $BC = 12 - 2x$ (m) である。
 $x > 0$ かつ $12 - 2x > 0$ から
 $0 < x < 6$ …… ①



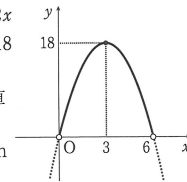
長方形 ABCD の面積を y m² とすると

$$y = x(12 - 2x) = -2x^2 + 12x$$

$$\text{よって } y = -2(x - 3)^2 + 18$$

① において, y は $x = 3$ すなわち $AB = 3$ で最大値 18 をとる。

よって, AB の長さを 3 m にすればよい。



- 149 売価を 100 円から x 円だけ値上げすると,
 1 日の売り上げ個数は $(300 - 2x)$ 個になる。

$x \geq 0$ かつ $300 - 2x \geq 0$ から
 $0 \leq x \leq 150$ …… ①

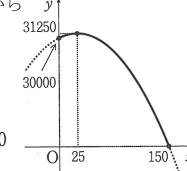
1 日の売り上げ金額を y 円とすると

$$y = (100 + x)(300 - 2x) \\ = -2x^2 + 100x + 30000$$

よって

$$y = -2(x - 25)^2 + 31250$$

① において, y は $x = 25$ で最大値 31250 をとる。
 したがって, 売価は 125 円にすればよい。



- 150 直角をはさむ 2 辺の一方の長さを x とすると,
 他方は $12 - x$ である。
 $x > 0$ かつ $12 - x > 0$ から

$0 < x < 12$ …… ①

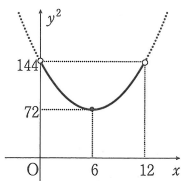
斜辺の長さを y とすると、三平方の定理により

$$y^2 = x^2 + (12-x)^2$$

右辺を変形すると

$$\begin{aligned} x^2 + (12-x)^2 &= 2x^2 - 24x + 144 \\ &= 2(x-6)^2 + 72 \end{aligned}$$

①において、 y^2 は $x=6$ で最小値 72 をとる。



$y > 0$ であるから、 y^2 が最小となるとき y も最小となる。よって、求める最小値は $\sqrt{72} = 6\sqrt{2}$

151 (1) 頂点が点 $(1, -2)$ であるから、この 2

次関数は $y = a(x-1)^2 - 2$ の形に表される。

グラフが点 $(2, -3)$ を通るから

$$-3 = a(2-1)^2 - 2$$

よって $a = -1$

したがって $y = -(x-1)^2 - 2$

$$(y = -x^2 + 2x - 3)$$

(2) 頂点が点 $(-4, -1)$ であるから、この 2 次関

数は $y = a(x+4)^2 - 1$ の形に表される。

グラフが点 $(-6, 7)$ を通るから

$$7 = a(-6+4)^2 - 1$$

よって $a = 2$

したがって $y = 2(x+4)^2 - 1$

$$(y = 2x^2 + 16x + 31)$$

(3) 軸が直線 $x=2$ であるから、この 2 次関数は

$y = a(x-2)^2 + q$ の形に表される。

グラフが点 $(4, 1)$ を通るから

$$1 = a(4-2)^2 + q$$

点 $(6, -5)$ を通るから

$$-5 = a(6-2)^2 + q$$

よって $1 = 4a + q$

$$-5 = 16a + q$$

これを解くと $a = -\frac{1}{2}, q = 3$

したがって $y = -\frac{1}{2}(x-2)^2 + 3$

$$(y = -\frac{1}{2}x^2 + 2x + 1)$$

(4) 軸が直線 $x=-3$ であるから、この 2 次関数は

$y = a(x+3)^2 + q$ の形に表される。

グラフが点 $(0, 9)$ を通るから

$$9 = a(0+3)^2 + q$$

点 $(-2, -7)$ を通るから

$$-7 = a(-2+3)^2 + q$$

よって $9 = 9a + q, -7 = a + q$

これを解くと $a=2, q=-9$

したがって $y = 2(x+3)^2 - 9$

$$(y = 2x^2 + 12x + 9)$$

$$152 \quad (1) \quad \begin{cases} 4a - 2b + c = 9 & \dots\dots ① \\ a - b + c = 2 & \dots\dots ② \\ a + b + c = 6 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

$$① - ② \text{ から } 3a - b = 7 \quad \dots\dots ④$$

$$③ - ② \text{ から } 2b = 4$$

よって $b = 2$

$b = 2$ を ④ に代入して $3a - 2 = 7$

よって $a = 3$

$a = 3, b = 2$ を ② に代入して $c = 1$

よって $a = 3, b = 2, c = 1$

$$(2) \quad \begin{cases} a + b + 2c = 9 & \dots\dots ① \\ a + 2b + c = 11 & \dots\dots ② \\ 2a + b + c = 8 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

$$② \times 2 - ① \text{ から } a + 3b = 13 \quad \dots\dots ④$$

$$③ - ② \text{ から } a - b = -3 \quad \dots\dots ⑤$$

④, ⑤ を解いて $a = 1, b = 4$

これらを ② に代入して $c = 2$

よって $a = 1, b = 4, c = 2$

【参考】 a, b, c の係数が対称であることを利用し

て次のように求めることもできる。

$$① + ② + ③ \text{ から } 4a + 4b + 4c = 28$$

よって $a + b + c = 7 \quad \dots\dots ⑥$

$$③ - ⑥ \text{ から } a = 1$$

$$② - ⑥ \text{ から } b = 4$$

$$① - ⑥ \text{ から } c = 2$$

$$(3) \quad \begin{cases} x - 2y + z = 8 & \dots\dots ① \\ 2x - y - z = 1 & \dots\dots ② \\ 3x + 6y + 2z = -3 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

$$① + ② \text{ から } 3x - 3y = 9$$

すなわち $x - y = 3 \quad \dots\dots ④$

$$② \times 2 + ③ \text{ から } 7x + 4y = -1 \quad \dots\dots ⑤$$

④, ⑤ を解いて $x = 1, y = -2$

これらを ① に代入して $z = 3$

よって $x = 1, y = -2, z = 3$

153 (1) 求める 2 次関数を $y = ax^2 + bx + c$ とする。

グラフが 3 点 $(0, 3), (1, 0), (2, 1)$ を通るから

$$3 = c \quad \dots\dots ①$$

$$0 = a + b + c \quad \dots\dots ②$$

$$1 = 4a + 2b + c \quad \dots\dots ③$$

$$② - ① \text{ から } a + b = -3 \quad \dots\dots ④$$

$$③ - ② \text{ から } 3a + b = 1 \quad \dots\dots ⑤$$

④, ⑤ を解くと $a = 2, b = -5$

よって、求める2次関数は $y=2x^2-5x+3$

【参考】②, ③に $c=3$ を代入して得られる a, b の連立方程式

$$a+b=-3, \quad 2a+b=-1$$

を解いてもよい。

- (2) 求める2次関数を $y=ax^2+bx+c$ とする。
グラフが3点 $(-1, 1), (1, -5), (3, 5)$ を通るから

$$1=a-b+c \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$-5=a+b+c \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$5=9a+3b+c \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

②-①から $2b=-6$

よって $b=-3$

③-②から $8a+2b=10$

すなわち $4a+b=5 \quad \cdots \cdots \textcircled{4}$

$b=-3$ を④に代入して $4a-3=5$

よって $a=2$

$a=2, b=-3$ を①に代入して $c=-4$

よって、求める2次関数は $y=2x^2-3x-4$

- 154 (1) 放物線 $y=x^2-3x$ を平行移動した放物線をグラフにもつ2次関数は

$$y=x^2+bx+c$$

の形に表される。

グラフが2点 $(1, 2), (2, 3)$ を通るから

$$2=1+b+c,$$

$$3=4+2b+c$$

すなわち $b+c=1, \quad 2b+c=-1$

これを解くと $b=-2, c=3$

よって、求める2次関数は

$$y=x^2-2x+3$$

- (2) $y=-2x^2+8x-5$ を変形すると

$$y=-2(x-2)^2+3$$

この2次関数のグラフの頂点は

点 $(2, 3)$

よって、求める関数は

$$y=a(x-2)^2+3$$

の形に表される。

グラフが点 $(0, 7)$ を通るから

$$7=a(0-2)^2+3$$

これを解くと $a=1$

したがって、求める2次関数は

$$y=(x-2)^2+3 \quad (y=x^2-4x+7)$$

- (3) $x=3$ で最小値4をとるから、 y は

$$y=a(x-3)^2+4$$

の形に表される。ただし、 $a>0$ である。

$x=5$ で $y=8$ となるから $8=a(5-3)^2+4$

よって $a=1$

これは、 $a>0$ を満たす。

したがって、求める2次関数は

$$y=(x-3)^2+4 \quad (y=x^2-6x+13)$$

- 155 $2x^2-8x+2=2(x-2)^2-6$ より、放物線 $y=2x^2-8x+2$ の頂点の座標は $(2, -6)$
 $x^2+2ax+b=(x+a)^2-a^2+b$ より、放物線 $y=x^2+2ax+b$ の頂点の座標は

$$(-a, -a^2+b)$$

よって $-a=2, -a^2+b=-6$

これを解いて $a=-2, b=-2$

- 156 $y=2x^2+4mx+4$ を変形すると
 $y=2(x+m)^2-2m^2+4$

よって、放物線の頂点は

$$(-m, -2m^2+4)$$

この点が直線 $y=-x+3$ 上にあるから

$$-2m^2+4=-(-m)+3$$

すなわち $2m^2+m-1=0$

左辺を因数分解すると

$$(m+1)(2m-1)=0$$

よって $m+1=0$ または $2m-1=0$

したがって $m=-1, \frac{1}{2}$

- 157 (1) 放物線 $y=2x^2-2bx+c$ が点 $(-1, 2)$ を通るから $2=2 \cdot (-1)^2-2b \cdot (-1)+c$
すなわち $c=-2b$

- (2) (1)より $c=-2b$ であるから

$$2x^2-2bx+c=2x^2-2bx-2b \\ =2\left(x-\frac{b}{2}\right)^2-\frac{b^2}{2}-2b$$

よって $y=2\left(x-\frac{b}{2}\right)^2-\frac{b^2}{2}-2b$

ゆえに、放物線の頂点は $\left(\frac{b}{2}, -\frac{b^2}{2}-2b\right)$

この点が直線 $y=-x-2$ 上にあるから

$$-\frac{b^2}{2}-2b=-\frac{b}{2}-2$$

すなわち $b^2+3b-4=0$

左辺を因数分解すると $(b-1)(b+4)=0$

よって $b-1=0$ または $b+4=0$

ゆえに $b=1, -4$

$b=1$ のとき $c=-2 \cdot 1=-2$

$b=-4$ のとき $c=-2 \cdot (-4)=8$

したがって

$$b=1, c=-2 \quad \text{または} \quad b=-4, c=8$$

158 (1) $z = x^2 + y^2$ とする。

$2x + y = 1$ より $y = 1 - 2x$ であるから

$$z = x^2 + y^2 = x^2 + (1 - 2x)^2$$

$$= 5x^2 - 4x + 1 = 5\left(x - \frac{2}{5}\right)^2 + \frac{1}{5}$$

よって、 z は $x = \frac{2}{5}$ で最小値 $\frac{1}{5}$ をとる。

このとき $y = 1 - 2 \cdot \frac{2}{5} = \frac{1}{5}$

したがって $x = \frac{2}{5}$, $y = \frac{1}{5}$ のとき最小値 $\frac{1}{5}$

(2) $z = xy$ とする。

$x + 2y + 3 = 0$ より $x = -2y - 3$ であるから

$$z = xy = (-2y - 3)y = -2y^2 - 3y$$

$$= -2\left(y + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{9}{8}$$

よって、 z は $y = -\frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{9}{8}$ をとる。

このとき $x = -2\left(-\frac{3}{4}\right) - 3 = -\frac{3}{2}$

したがって $x = -\frac{3}{2}$, $y = -\frac{3}{4}$ のとき最大値 $\frac{9}{8}$

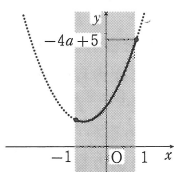
159 $y = 2x^2 - 4ax + 3$ を変形すると

$$y = 2(x - a)^2 - 2a^2 + 3$$

よって、放物線の軸は $x = a$

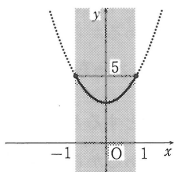
(1) $a < 0$ のとき、グラフは右の図の実線部分である。

よって、 $x = 1$ で最大値 $-4a + 5$ をとる。



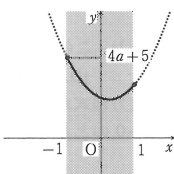
(2) $a = 0$ のとき、グラフは右の図の実線部分である。

よって、 $x = \pm 1$ で最大値 5 をとる。



(3) $a > 0$ のとき、グラフは右の図の実線部分である。

よって、 $x = -1$ で最大値 $4a + 5$ をとる。



160 $y = x^2 - 2x + 3$ を変形すると

$$y = (x - 1)^2 + 2$$

よって、放物線の軸は 直線 $x = 1$,
頂点は 点 $(1, 2)$

(1) $a < -1$ のとき、

$a + 2 < 1$ であるから、
グラフは右の図の実線部分である。

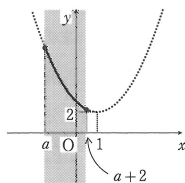
$x = a + 2$ のとき

$$y = [(a + 2) - 1]^2 + 2$$

$$= (a + 1)^2 + 2$$

$$= a^2 + 2a + 3$$

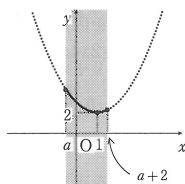
よって、 $x = a + 2$ で最小値 $a^2 + 2a + 3$ をとる。



(2) $-1 \leq a \leq 1$ のとき、

$a \leq 1 \leq a + 2$ であるから、
グラフは右の図の実線部分である。

よって、 $x = 1$ で最小値 2 をとる。



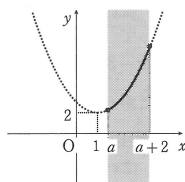
(3) $1 < a$ のとき、グラフは右の図の実線部分である。

$x = a$ のとき

$$y = a^2 - 2a + 3$$

よって、 $x = a$ で最小値

$$a^2 - 2a + 3$$



161 (1) $x + 2 = 0$ または $x + 5 = 0$

したがって、解は $x = -2, -5$

(2) $x = 0$ または $x - 9 = 0$

したがって、解は $x = 0, 9$

(3) $3x - 1 = 0$ または $x + 3 = 0$

したがって、解は $x = \frac{1}{3}, -3$

(4) 左辺を因数分解すると $(x - 1)(x - 5) = 0$

よって $x - 1 = 0$ または $x - 5 = 0$

したがって、解は $x = 1, 5$

(5) 左辺を因数分解すると $(x - 2)(x + 7) = 0$

よって $x - 2 = 0$ または $x + 7 = 0$

したがって、解は $x = 2, -7$

(6) 左辺を因数分解すると $x(x - 4) = 0$

よって $x = 0$ または $x - 4 = 0$

したがって、解は $x = 0, 4$

(7) 左辺を因数分解すると

$$(x + 3)(3x + 2) = 0$$

よって

$$x + 3 = 0 \text{ または } 3x + 2 = 0$$

したがって、解は $x = -3, -\frac{2}{3}$

$$\begin{array}{r} 1 \times 3 \rightarrow 9 \\ 3 \times 2 \rightarrow 2 \\ \hline 3 \quad 6 \quad 11 \end{array}$$